



富山市の現状と 公共施設マネジメントの取組み

平成30年7月29日(日)

富山市企画管理部行政管理課

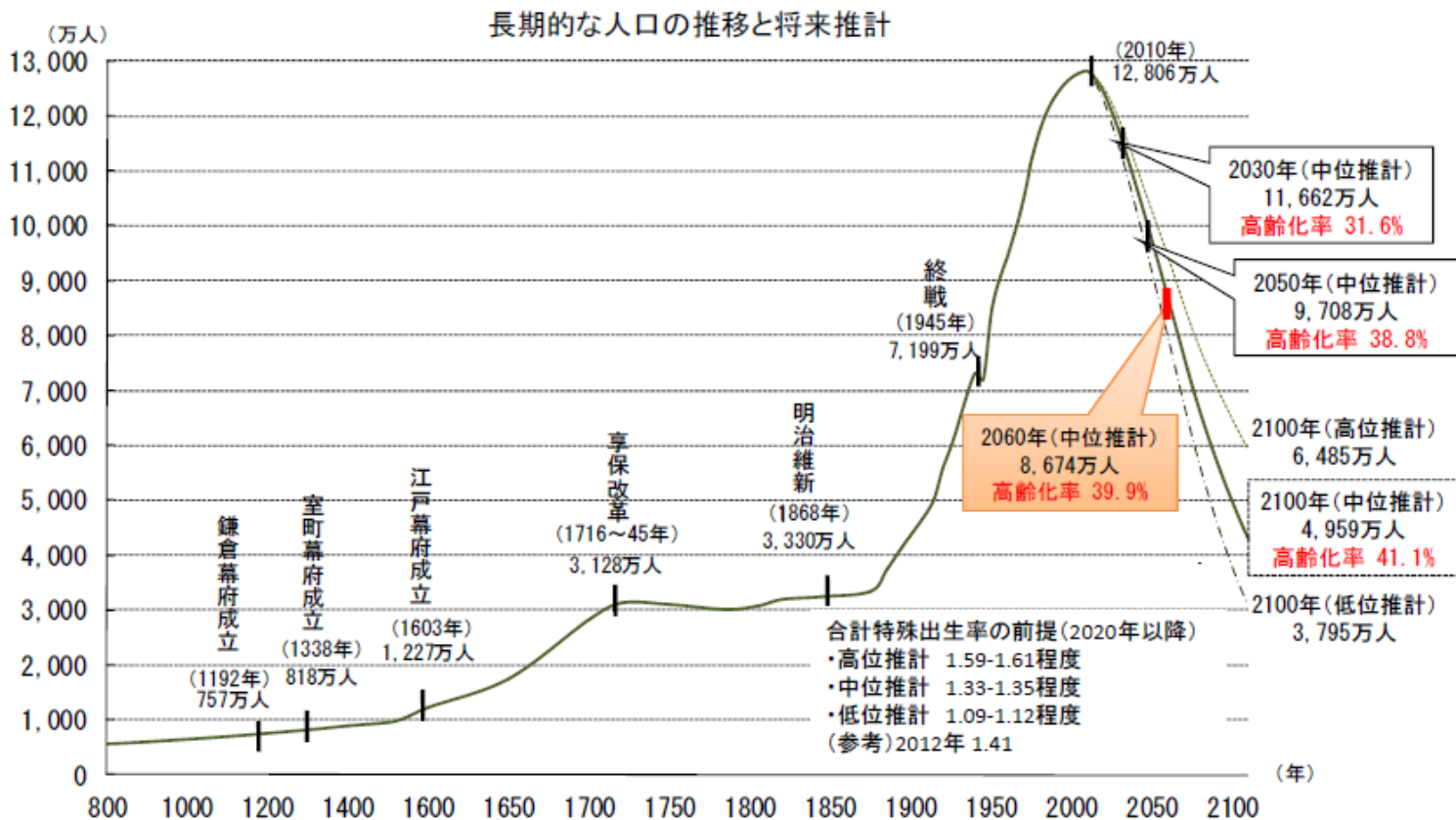




1:富山市における公共施設の現状

1 我が国の鎌倉時代以降の人口推移及び将来推計

□ 現状が継続することを前提とすると、2100年には日本の総人口は5千万人弱まで減少し、明治末頃の人口規模になる見込み。



(備考) 国土交通省「国土の長期展望」(2011年)をもとに作成。
 2010年以前の人口: 総務省「国勢調査」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)
 それ以降の人口: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

2 人口減少・少子超高齢化の進行(税収の減少)

- ・総人口→2割減
- ・生産年齢人口
→3割減

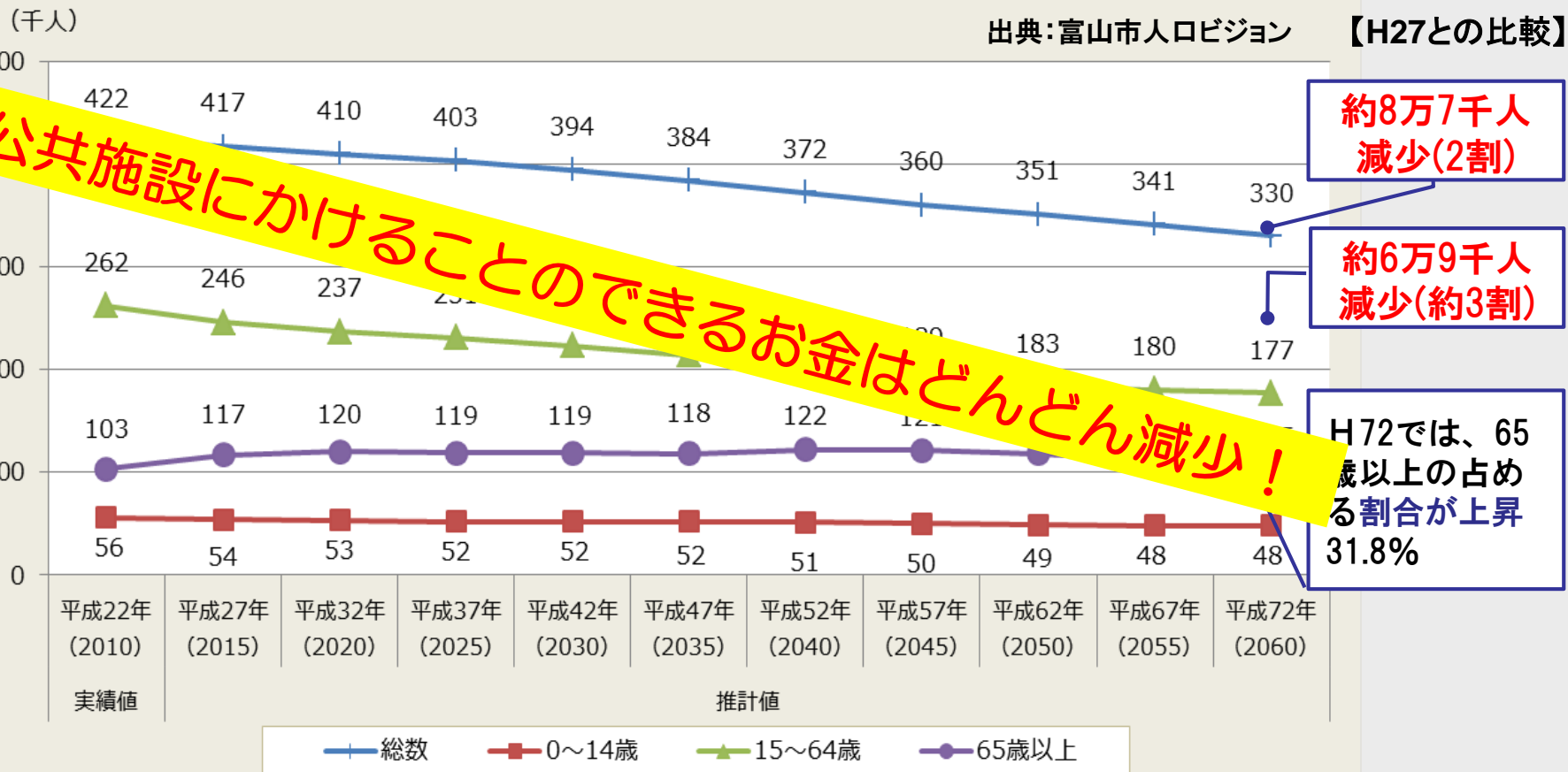


個人市民
税などの
税収減少

高齢者の占める
割合
28.3%→31.8
%



医療・介護な
どの社会保障
費が増大



3 地域別の人口減少

地域創生の取り組みが効果的に働き、市民の希望出生率1.92が達成されたと仮定しても、各地域とも大幅な人口の減少が見込まれます。

実績値

推計値

	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)	平成52年 (2040)	平成57年 (2045)	平成62年 (2050)	平成67年 (2055)	平成72年 (2060)
総数	421,953	417,182	410,233	402,714	393,800	383,553	371,575	360,343	350,908	341,201	330,382
富山地域	324,372	321,651	317,311	312,431	306,323	299,036	290,494	282,831	276,620	270,103	262,632
大沢野地域	22,244	21,769	21,147	20,444	19,679	18,839	17,917	17,000	16,142	15,295	14,445
大山地域	11,034	10,419	9,749	9,093	8,460	7,841	7,191	6,567	6,001	5,466	4,950
八尾地域	21,018	20,054	18,935	17,821	16,692	15,542	14,313	13,078	11,976	10,964	9,979
婦中地域	39,973	40,337	40,503	40,668	40,678	40,602	40,237	39,691	39,191	38,554	37,698
山田地域	1,789	1,611	1,431	1,267	1,125	988	845	705	589	494	410
細入地域	1,523	1,340	1,157	990	843	706	578	471	389	324	267

4 富山市の公共施設の現状

■市では、学校や市営住宅等の公共建築物（いわゆるハコモノ）をはじめ、道路、橋りょう、上下水道管等、多くの資産を保有しています。

■公共建築物

公共建築物(ハコモノ)
1,077施設(1,678,108㎡)

東京ドーム
36個分

1人当たりの延床面積が中核市の中で7位 = ハコモノが多い！

■社会インフラ

道路
10,496路線(3,086km)

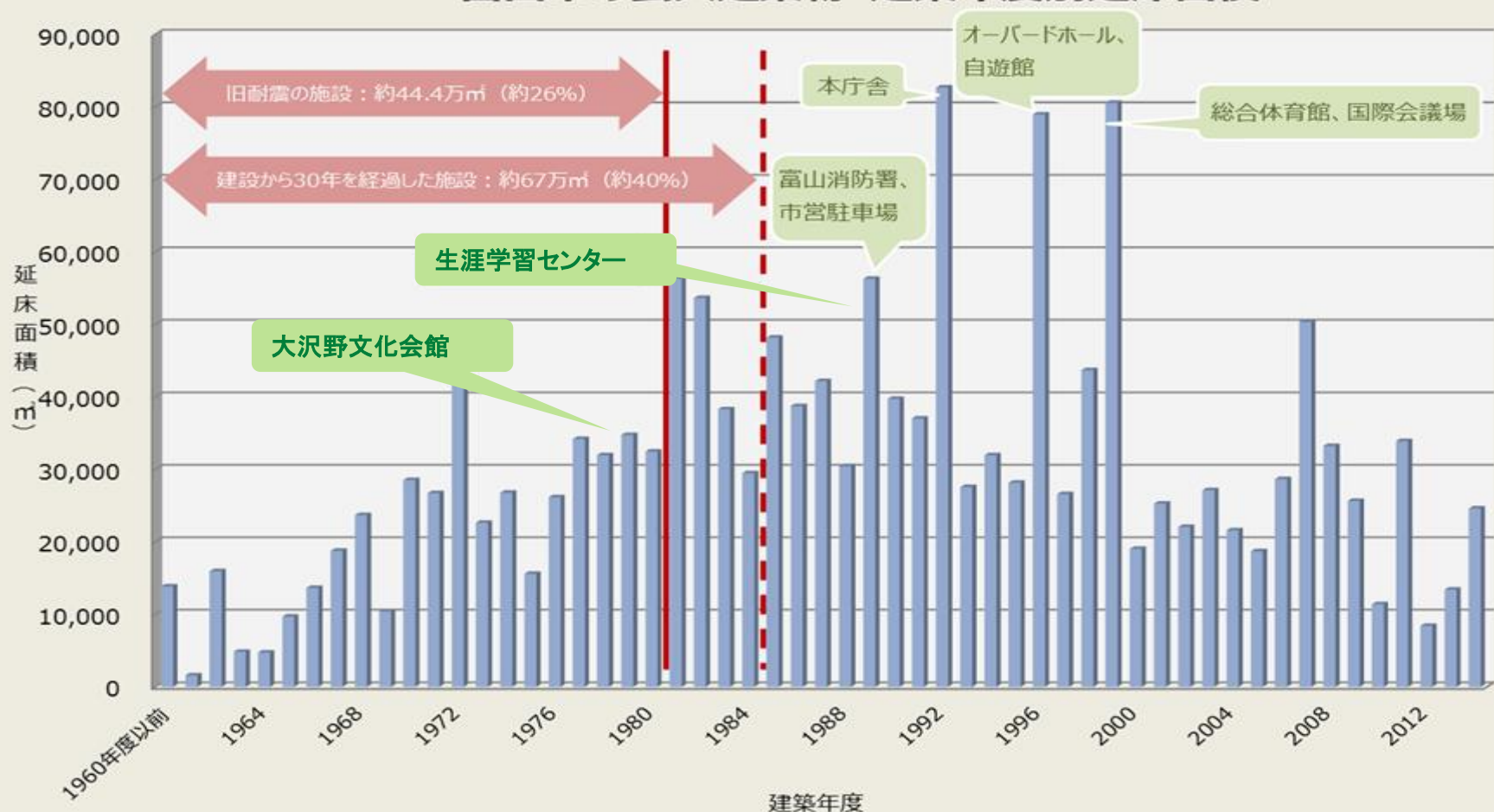
橋梁
2,218本(19.6km)

上水道管
3,023.3km

下水道管
2,617.1km

5 公共建築物の過去整備状況

富山市の公共建築物 建築年度別延床面積



富山市では1980年代から90年代にかけて集中的に整備した施設が今から約20～30年後にほぼ一斉に更新時期を迎えることから、大幅な予算不足が見込まれています。

6 市町村合併①

平成17年4月1日に、1市4町2村により市町村合併

歴史や文化において古くから深いつながりを持つとともに、交通・通信手段の発展等により、経済圏・日常生活圏が一体化してきていました。

また、行政の広域的な課題に対応するために、富山地区広域圏事務組合の構成団体としてごみ処理等の共同事務を行うほか、多くの分野で積極的に広域行政に取り組んできていました。

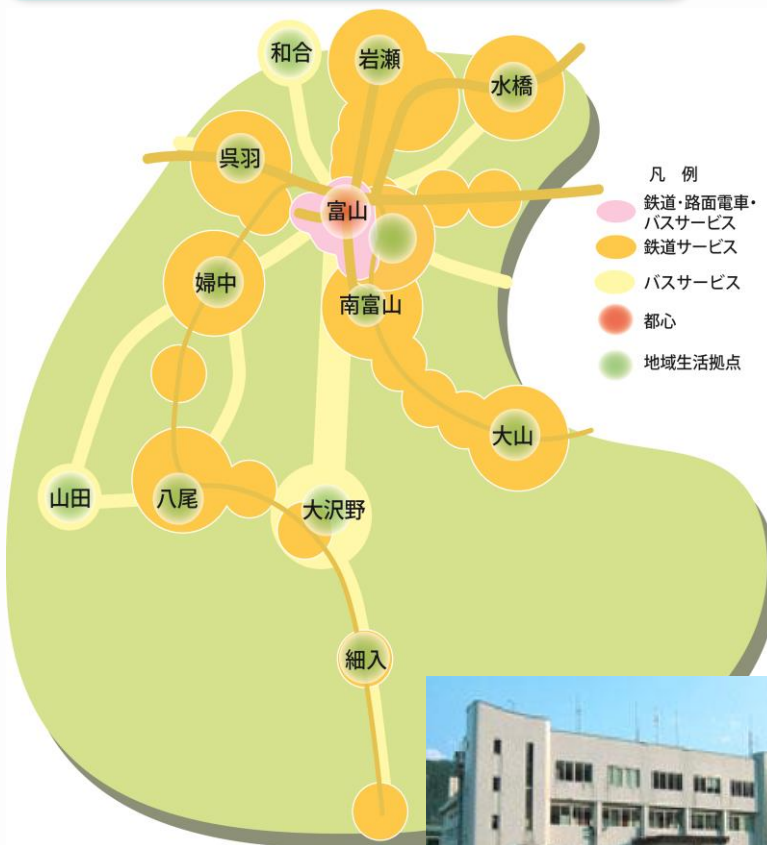
都市名	人口(人)	世帯数	面積(k㎡)
富山市	325,700	118,070	208.81
大沢野町	22,642	6,817	74.66
大山町	11,652	3,633	572.32
八尾町	22,322	6,457	236.86
婦中町	34,528	9,760	68.04
山田村	2,037	461	40.92
細入村	1,923	623	40.24
計	420,804	145,821	1,241.85



6 市町村合併②(類似施設)

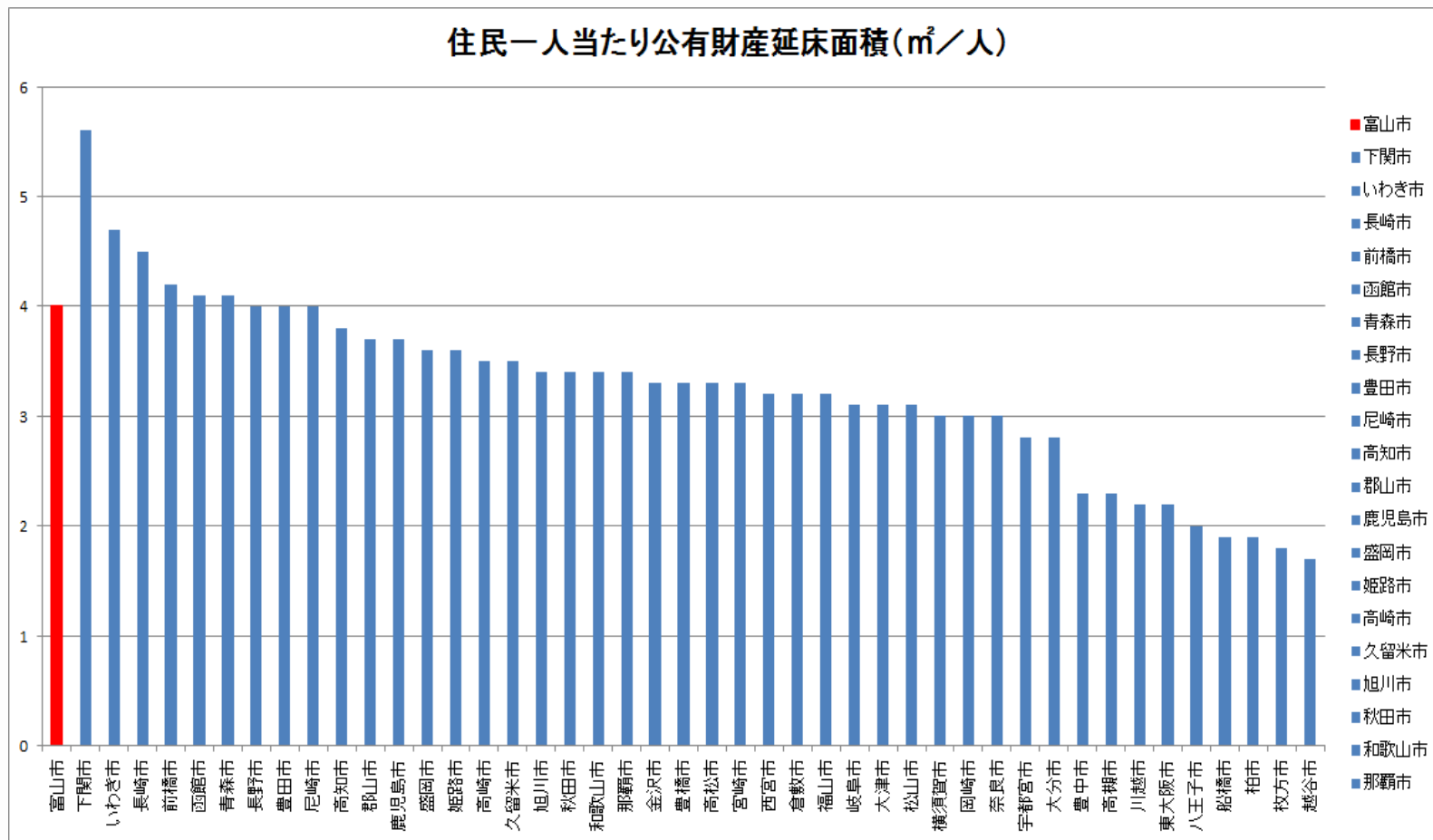
重複施設機能
の見直し

富山市が目指す都市構造
との整合性



7 市民一人当たりの公共施設保有面積

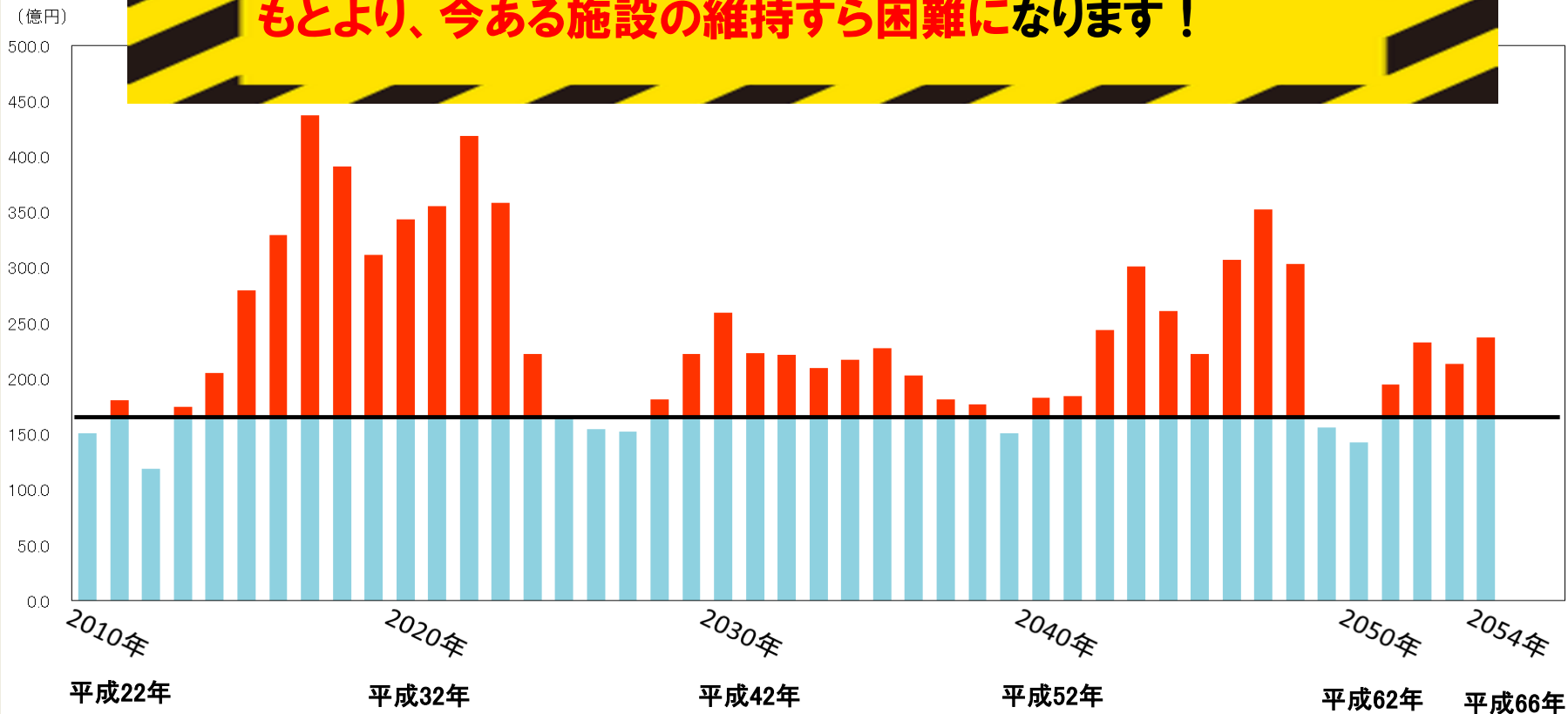
市民1人当たりの面積は4.0m²となっており、中核市平均の3.2m²を上回っています。40年後には、人口減少の影響により、4.9m²に上昇することが見込まれます。



中核市で比較すると全国7位

8 将来更新費用推計

このままでは…子供たちの世代には**新しい施設の整備はもとより、今ある施設の維持すら困難になります！**



今後40年間で約3,300億円、年平均で82.5億円の不足！

9 このままでは…将来想定されるシナリオ

■このまま公共施設配置に対して何も対策を講じずに施設を維持し続けた場合、想定されるシナリオについて考えてみます！

①必要な修繕をせずに先送りすると

公共施設の十分な安全対策
ができない

②足りない財源を借金などでまかない施設の新設・改修・更新を続けると

ほかの必要な住民サービス
を提供できない

③既存の施設を廃止しないと

時代にあった新たな施設を
整備できない

これまでの社会は施設を「増やす」ことを考えてきましたが
これからの社会は施設を「適切に管理する」ことが必要です！



2: 富山市の公共施設マネジメントの 取り組み

10 これまでの取組みと計画の枠組み

平成
23年度

富山市公共施設利活用検討チームの設置

平成
24年度

公共施設の利活用に関する報告書(24年8月)

公共施設利活用検討チームが、再編整備にかかる市全体の基本方針、48の個別施設の方向性等を示したもの



以降、48の方向性が示された個別施設について、合意形成を図りながら、順次、見直しを行ってきた。

平成
28年度

「富山市公共施設等総合管理計画」

今後の富山市の公共施設マネジメントの基本方針となるもの

- ・公共施設等の現状及び将来見通し
- ・公共施設等の管理に関する基本的な方針
- ・施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

平成
29年度

富山市公共施設マネジメントアクションプラン

戦略編

- ・再編の手法
- ・施設用途別の分析
- ・地域別の分析
- ・実行編の進め方

実行編

- ・実行編の概要
 1. 第1次アクションプランの目標
 2. 第1次における実行編の進め方
 3. 地域別実行計画の策定
 4. 施設保全のマネジメント体制の構築
- ・課題があるとされた施設の見直しの方向性

平成
30年度
以降

公共施設マネジメントの実行段階

- ・課題があるとされた施設の見直し
- ・地域別実行計画・リーディングプロジェクトの策定

11 富山市の公共施設の全体計画について

総合管理計画 (H29～H68)

第1次 アクション プラン (H30 -H33)	第2次 アクション プラン (H34 -H38)	第3次 アクション プラン (H39 -H43)	第4次 アクション プラン (H44- H48)	第5次 アクション プラン (H49 -H53)	第6次 アクション プラン (H54 -H58)	第7次 アクション プラン (H59 -H63)	第8次 アクション プラン (H64- H68)
--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

戦略編



実行編

実行編

実行編

実行編

実行編

実行編

実行編

実行編

ただし、より地域の方のご意見を踏まえる必要があると判断した施設については、地域ごとに定める「**地域別実行計画**」に従います。

12 再編の基本方針

基本方針1 施設機能の再編と総量の縮減

- 市民ニーズに合わせた施設機能の再編
- 施設総量の縮減

基本方針2 計画的な保全による施設の長寿命化

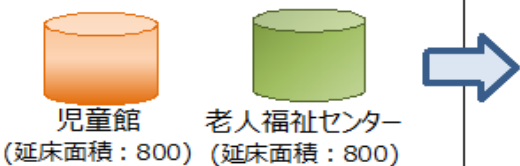

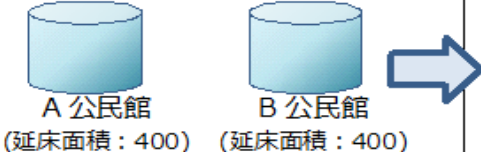


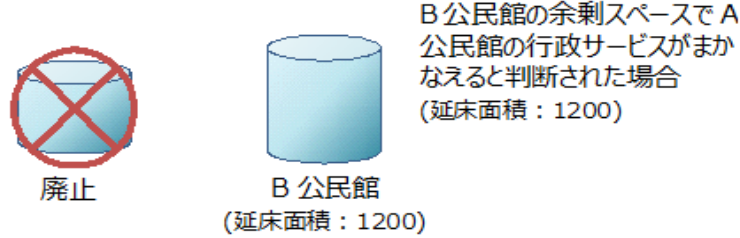
- 施設の点検・診断の実施
- 計画的な工事の実施
- 耐震性の確保

基本方針3 まちづくりと連動した施設のあり方の検討

- 地域別実行計画の策定
- 市民の参画による検討

「富山市公共施設マネジメントアクションプラン戦略編」より抜粋

13 機能再編の手法の例

手法	取組のイメージ	
	実施前	実施後
複合化		
	<p>既存の異なる機能の公共施設を合築し、これら機能を有した複合施設として再整備する手法です。</p>	
集約化		
	<p>【建替統合】既存の同種・類似機能の公共施設を統合し、一体の施設として再整備する手法です。</p>	
	<p>A 公民館、B 公民館 ともに利用が少ない</p> 	
<p>【機能集約】既存の同種・類似機能を、1 施設に集約可能と判断された場合、一方の施設を廃止して統合する手法です。</p>		

14 施設類型ごとの再編方針

1 市民文化系施設

公民館・ホール

2 社会教育系施設

図書館・博物館

3 スポーツ・レクリエーション系施設

体育館、入浴施設など

4 産業系施設

会議場、研修室

5 学校教育系施設

学校 など

6 子育て支援施設

保育所、児童館

7 保健・福祉施設

老人福祉センター、障害者福祉施設 など

8 行政系施設

庁舎、斎場など

9 公営住宅

集会施設（公民館など）

公民館の連携も念頭におきつつ、原則、小学校区に1区の配置をめざす

12 公園

13 道路・橋梁

16 その他

農道・漁港・駐車場など

15 地域別実行計画とは

①富山中央

②富山北部

③和合

④呉羽

⑤富山西部

⑥富山南部

⑦富山東部

⑧水橋

⑨大沢野

⑩大山

⑪八尾

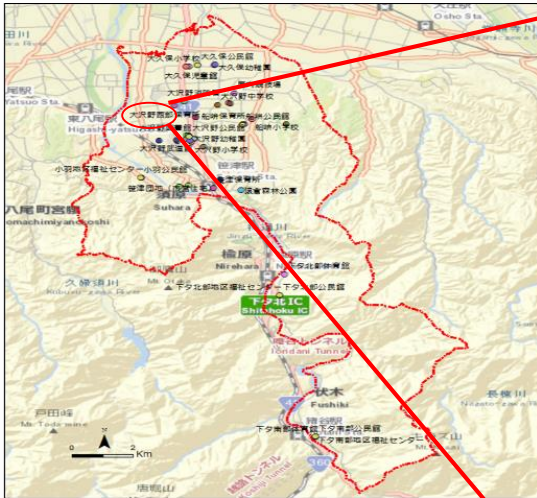
⑫婦中

⑬山田

⑭細入

地域の方々と一緒に**大沢野地域全体**を見渡し、施設用途ごとに**地域での将来の整備方針**を考えます。

16 リーディングプロジェクトとは

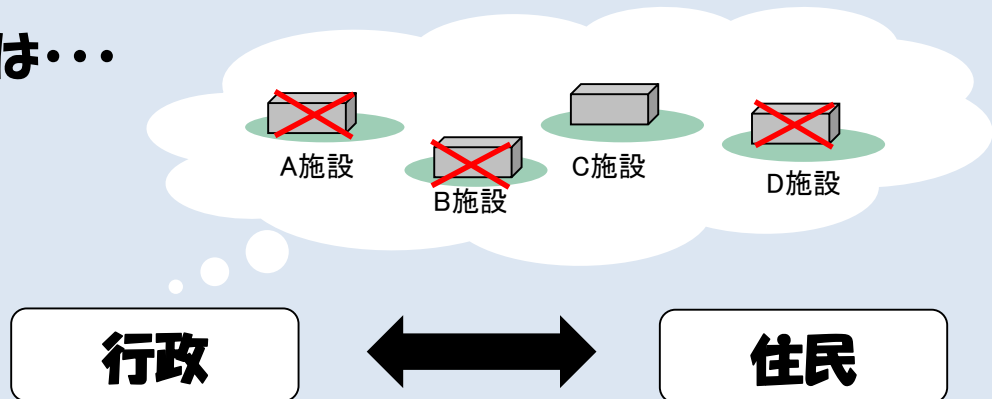


リーディングプロジェクトは、**大沢野行政サービスセンター周辺**において、必要とする機能を見直し、複合化や集約化の手法を用いてセンターを核とした施設の再編を行うものです。

本市の**公共施設再編のモデル**に、また、**他地域に先駆けた先導的な事例**となるよう、**地域別実行計画**と合わせてワークショップで検討していきます。

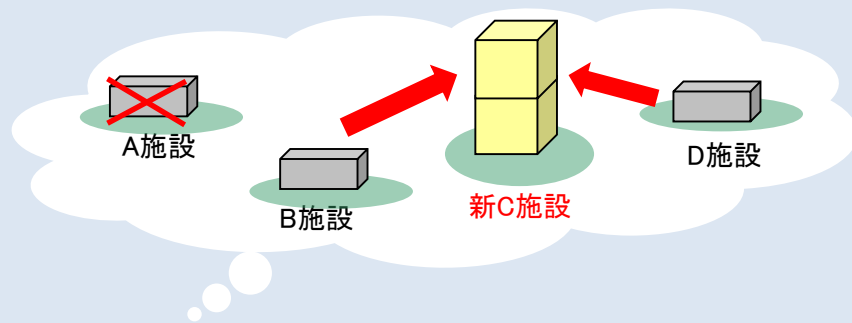
17 住民との協働によるプランニング

従来は・・・



行政側にて案を作成し、最後に意見を求める

今回は・・・



計画策定段階から地域住民が参加し、可能な範囲でその意見を反映させる

行政・住民

地域別実行計画

リーディングプロジェクト

18 地域住民の参加①

ワークショップの開催

地域別実行計画、リーディングプロジェクトについて地域の主要な団体の方や地域にお住まいの方に集まっていただき、意見を交わしていただきます

子育て環境はどうなるのだろうか？

大沢野地域にとって必要な機能はなんだろうか？

人口が少なくなるし、この施設がなくなるのは仕方ないのかも



小さくてもいいから図書館は欲しいな

子どもたちに負担が残らないようにして欲しい

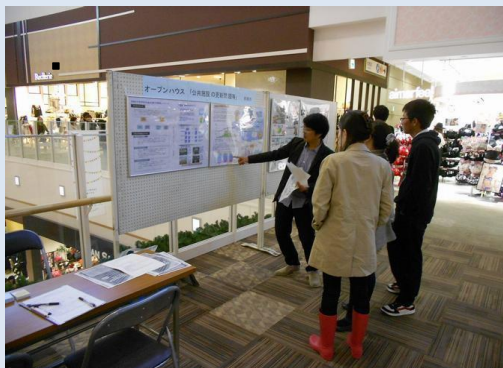
ワークショップに参加できない住民はどうすれば？



18 地域住民の参加②

オープンハウス・ニュースレター

ワークショップの状況について参加者以外の方へお知らせするとともに、その意見を募ります。



オープンハウス

ワークショップの進捗状況や検討されている内容についてのパネル展示を実施します。会場に訪れた住民の皆様のご意見を伺い、その意見をワークショップで報告します。

大沢野ワークショップ

〇月〇日ワークショップを開催しました！

.....
.....
.....



ニュースレター

地域の皆様の各ご家庭におたよりを配布し、ワークショップの進捗状況などについてお知らせします。

おわりに



40年後の将来市民に
負担を残さないために・・・

**もう問題を先送りには
できません！**

**公共施設マネジメントを契機とし、
新たな大沢野地域のまちづくりを
考えていきましょう！**